

漢方産業化推進研究会 漢方セミナー—2015

今、なぜ漢方産業化なのか？

2015年8月19日

渡辺賢治

「漢方産業化推進研究会」設立へ-神奈川・富山・奈良を中心に自治体と企業が連携

[@yakuji_nippo](#)さんをフォロー

BI 0 [f](#) いいね! 16 [Twitter](#) ツイート 7



会見する（左から）慶應義塾大学の渡辺教授、神奈川県の黒岩知事、奈良県の荒井知事、富山県の石井知事

神奈川県・富山県・奈良県、そして慶應義塾大学環境情報学部（大学院政策・メディア研究科）教授の渡辺賢治氏らが中心となって、漢方の産業化をテーマとした「一般社団法人漢方産業化推進研究会（仮

漢方産業化推進研究会



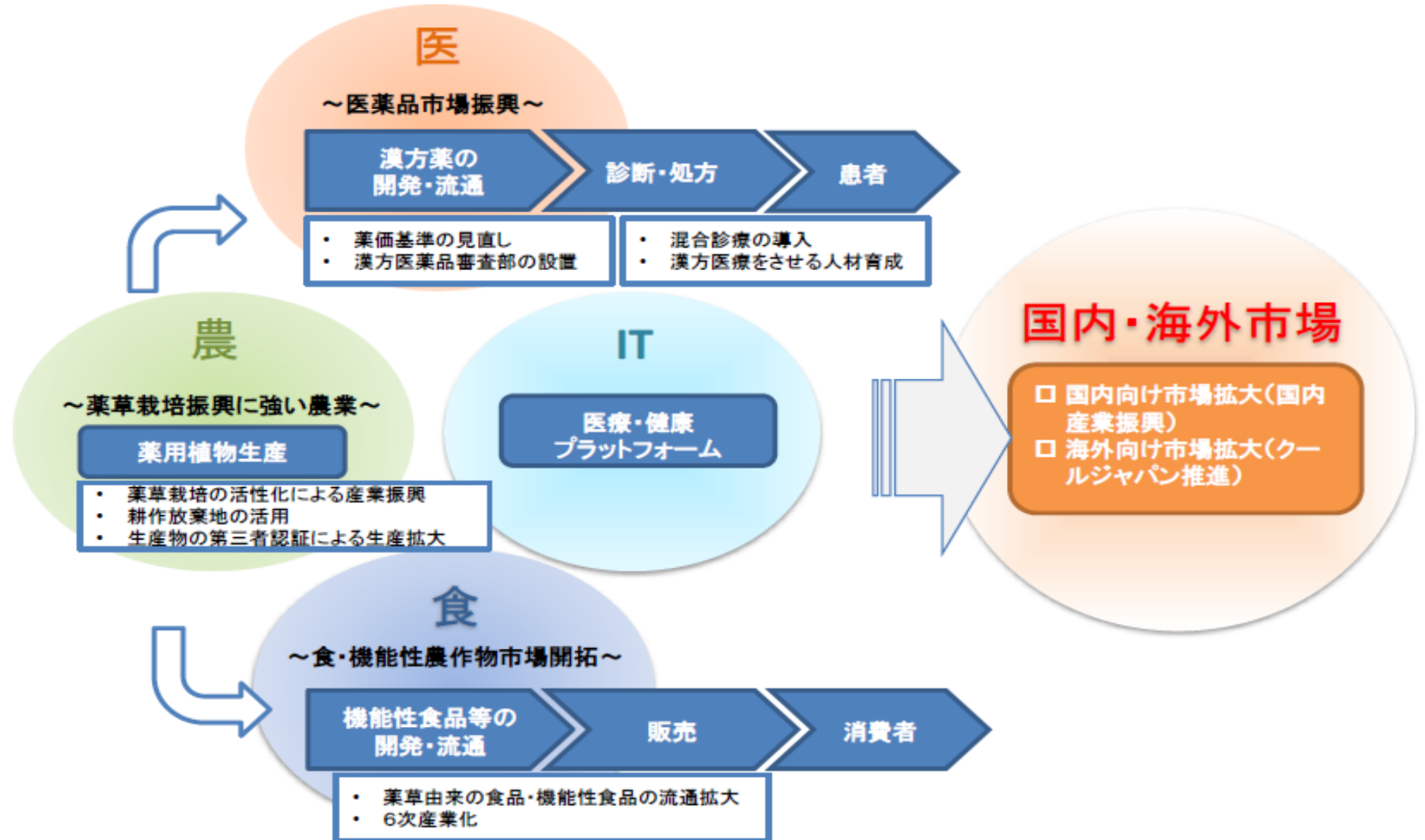
私たちは、健康寿命の延伸と
地域活性化を目指して、
漢方産業化を推進します。

企業会員	18	社
個人会員	5	名
協力団体	9	県(設立時 奈良、富山、神奈川)
	12	市町村、6法人
アドバイザー	8	名

漢方産業化の意義

- もういい加減に欧米の後追いを止めて**日本型社会（医療・ヘルス社会）**を追究しないとこの国は持続しない
- 漢方を活用することで、耕作放棄地の活用、農林業の再生から産業創成までこの国全体の六次産業化が可能

漢方でこの国の6次産業化をする



活動内容

1. 事業化支援

漢方分野の各種相談・事業化支援・個別コンサル(国プロ等への申請支援、地方自治体、企業間の提携支援)への対応漢方分野の人材育成への取り組み(ツール開発等)

2. 政策提言

漢方分野に関する政策検討・提言を実施(参加企業・地方自治体の意見・要望等を反映)

3. 調査研究

上記、事業化支援及び政策提言のために必要な調査研究を実施

4. 情報発信(広報・PR)

漢方分野の産業化支援及びPRに向けた情報発信

なぜ漢方でこの国を持続可能にするか？

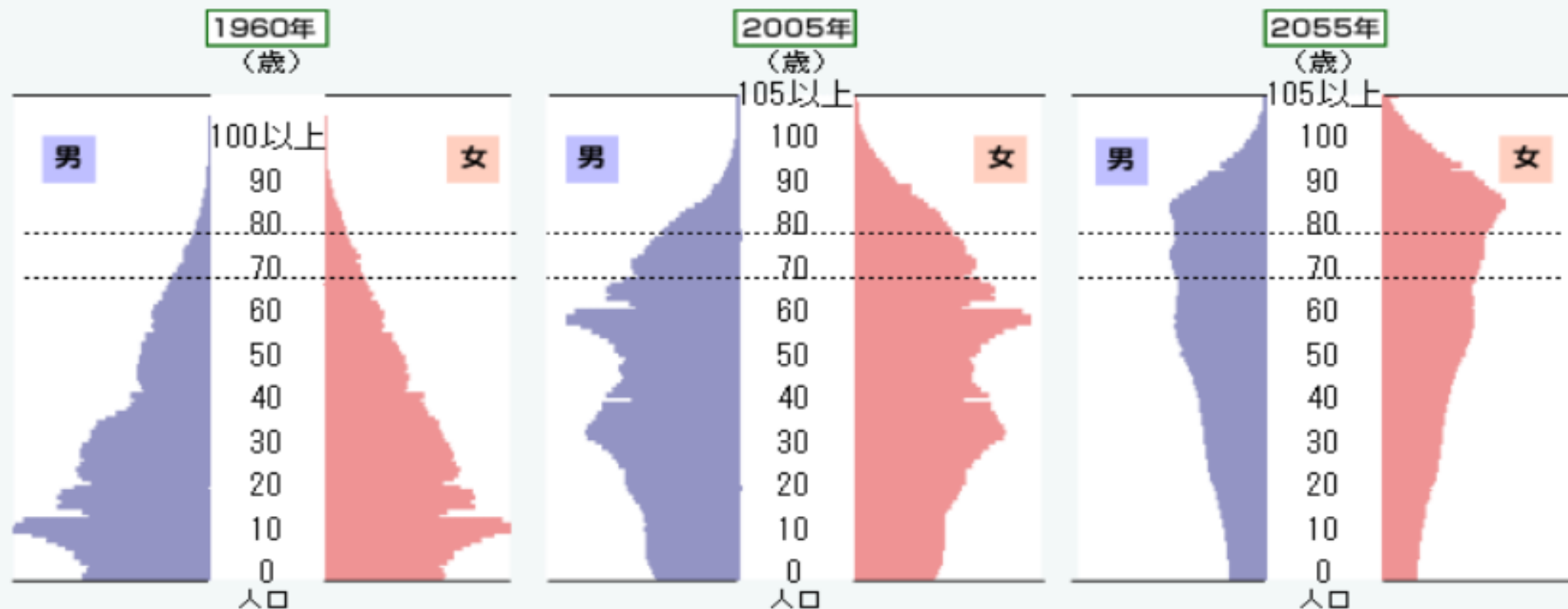
わが国を取り巻く状況

- 超高齢社会
- 荒れた国土

人口構造の変化

人口構造の変化

多産多死社会から少産少子社会へ。総人口は増加傾向から減少傾向に。



出典 2005年までは総務省統計局「国税調査」、2010年移行は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)中位推計」厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成より引用し作成(一部改変)

放送内容

[すべて](#)[社会](#)[経済](#)[政治](#)[国際](#)[科学](#)[文化](#)[生活](#)[環境](#)[健康](#)[食生活](#)[子育て](#)[高齢者](#)[防災](#)[その他](#)[スポーツ](#)

討論

シリーズ日本新生

医療費

2011 39兆円

2025 54兆円



刻な危機に直面しています。原因は、団塊の世代が75歳に達する“2025年問題”。患者が増え、医療費が急増すると予測されているのです。この危機をどう乗り越えるのか？今、「病院から在宅への転換」など、これまでの日本の医療を見直す、様々な改革が議論されようとしています。一方、財政面の視点ばかりに重きがおかれ、患者や家族が置き去りにされるのではないかと不安視する声があがっています。2025年まで、

高齢者医療における漢方の役割

- 病気ではなく、人を治す。
- よって年齢・性別・疾患に関わらず治療。三世代を診ることもしばしば。
- 複合物である漢方薬は複数のターゲットを持っていて、複数の疾患を持っていても一つの漢方薬で対応するのが原則。
- 個別化医療であり、個人個人の体質や社会状況に合わせた治療を行う。

ICD-11 Beta Draft

Welcome to the ICD11 Beta Browser

You can browse the ICD11 proposed content without registration here

If you wish to participate in the Beta Phase please [register or sign-in here](#).

[More information](#) on ICD-11 Beta Phase

[What to expect, when and how?](#)

Caveats

ICD-11 Beta draft is:

- **NOT FINAL**
- updated on a daily basis
- It is **not approved** by WHO



WHOの国際疾病分類の次回改訂版 (ICD-11)
に伝統医療が入る予定

▼ ICD11 Beta

- ▶ Certain infectious and parasitic diseases
- ▶ Neoplasms
- ▶ Diseases of the blood and blood-forming organs and certain disorders involving the immune mechanism
- ▶ Endocrine, nutritional and metabolic diseases
- ▶ Mental and behavioural disorders
- ▶ Diseases of the nervous system
- ▶ Diseases of the eye and adnexa
- ▶ Diseases of the ear and mastoid process
- ▶ Diseases of the circulatory system
- ▶ Diseases of the respiratory system
- ▶ Diseases of the digestive system
- ▶ Diseases of the skin
- ▶ Diseases of the musculoskeletal system and connective tissue
- ▶ Diseases of the genitourinary system
- ▶ Pregnancy, childbirth and the puerperium
- ▶ Certain conditions originating in the perinatal period
- ▶ Developmental anomalies
- ▶ Symptoms, signs and clinical findings, not elsewhere classified
- ▶ Injury, poisoning and external causes
- ▶ External causes of morbidity and mortality
- ▶ Factors influencing health status and contact with health services
- ▶ Codes for special purposes
- ▶ Traditional Medicine conditions - Module I (Note: This is a provisional title for ICD-11 Beta Phase)
- ▶ Special tabulation lists for mortality and morbidity

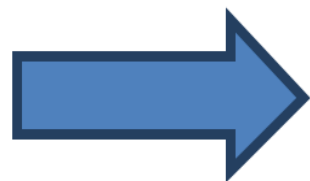
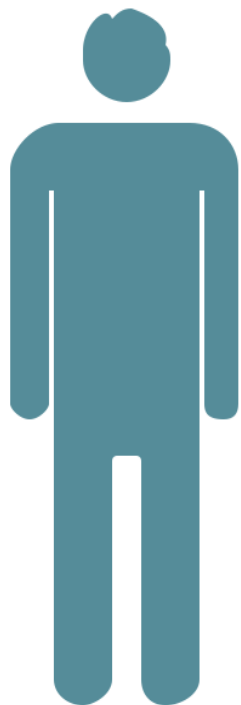
For more questions, please contact icd11@who.int

漢方を効率よく使う事で医療費は削減

胃がん患者の六君子湯による入院医療費の削減効果

一入院あたり医療費削減費用

10 万円



入院医療費削減効果

106.1 億円

※対象は、胃がんの患者

漢方医療の強み

- 生体をシステムとして治療できる(不眠、食欲不振、便秘)
高齢社会でのニーズの高まり
- 東西医療が融合した世界でもユニークな医療モデル
世界に類のない新しい医療を創生
- ジャパンブランドの最高品質の生薬および製剤
欧米およびアジア富裕層からの絶対の信頼

日本が世界にリードできる貴重な素材

漢方薬市場の現況

○平成23年における国内医薬品生産金額

◆全体:6兆9,874億円

◆うち漢方製剤等:1,422億円(全体の約2%)

(内訳)医療用:1,164億円(構成比約82%)

一般用: 258億円(構成比約18%)

漢方薬市場の動向

○直近5年間の生産動向(H19~H23:生産金額ベース)

・医療用漢方製剤等:1.23倍

(医療用医薬品全体では1.09倍)

・漢方薬全体(一般用含む):1.16倍

(医薬品全体では1.08倍)

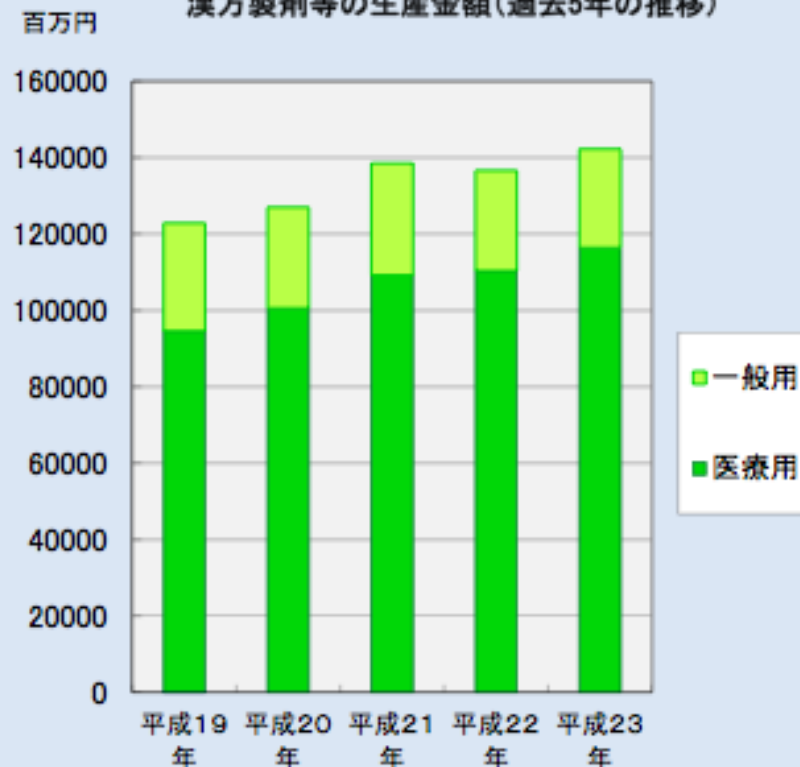
<薬事工業生産動態統計年報>

原料生薬の調達現況

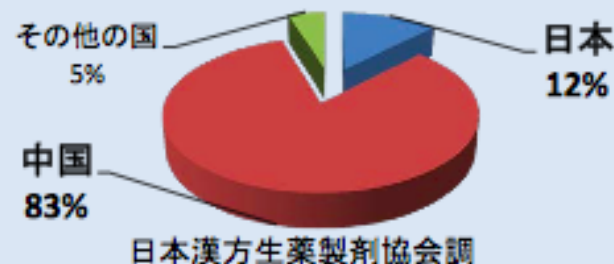
○医薬品原料として使用される生薬の年間総使用量は、約20,000トン

○気候・土壌、成分含有量など品質、価格の面などから、生薬使用量の83%は中国産 国産は12%

漢方製剤等の生産金額(過去5年の推移)



原料生薬生産国別調達状況(H20)



漢方・鍼灸を活用した日本型医療創生のための調査研究【第3回会合】 『生薬資源の現状と課題(安定的確保と地域振興に向けて)』

日本漢方生薬製剤協会

原料生薬の供給

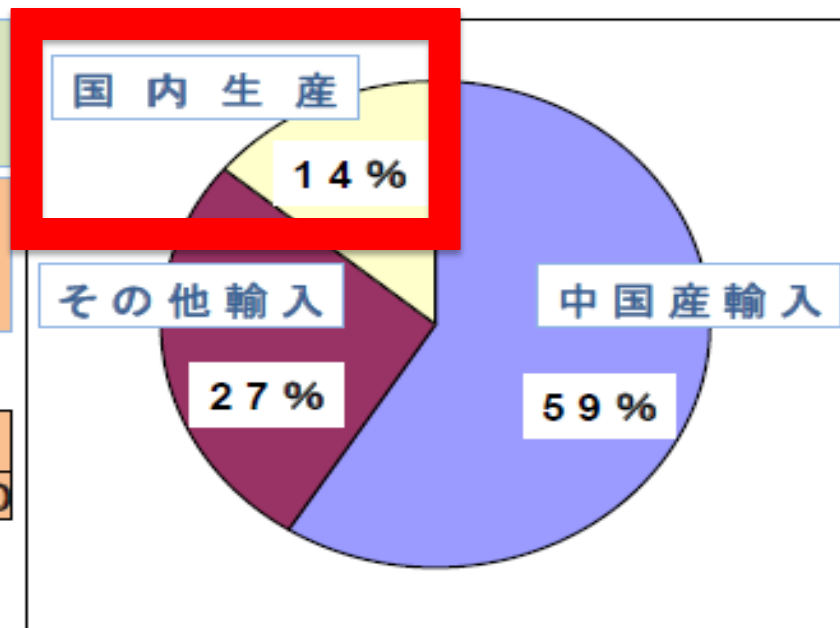
生薬供給は海外に大きく依存しており、その主体は中国である。

財務省統計品目：主として香料用、医療用、殺虫用、殺菌用その他これらに類する用途に供する植物及びその部分(ただし除虫菊等を除く)

財団法人日本特産農産物協会「薬用作物(生薬)に関する資料」より(ただし、ケール、青刈(葉)麦を除く)

単位: Kg

中国輸入	その他輸入	国内生産
13,880,036	6,366,991	3,277,780

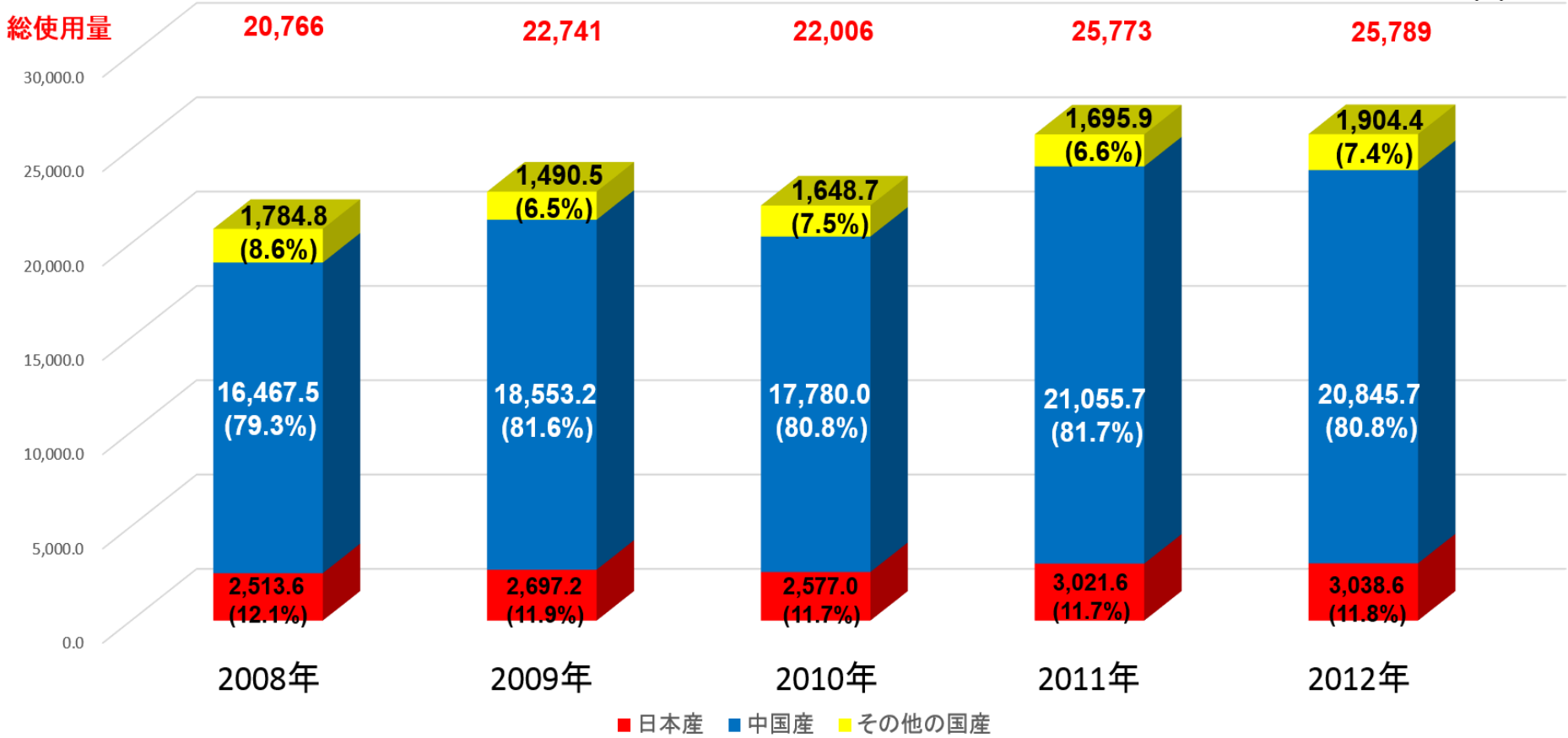


日本漢方生薬製剤協会として使用量等の実態を調査中。

原料生薬使用量等調査結果

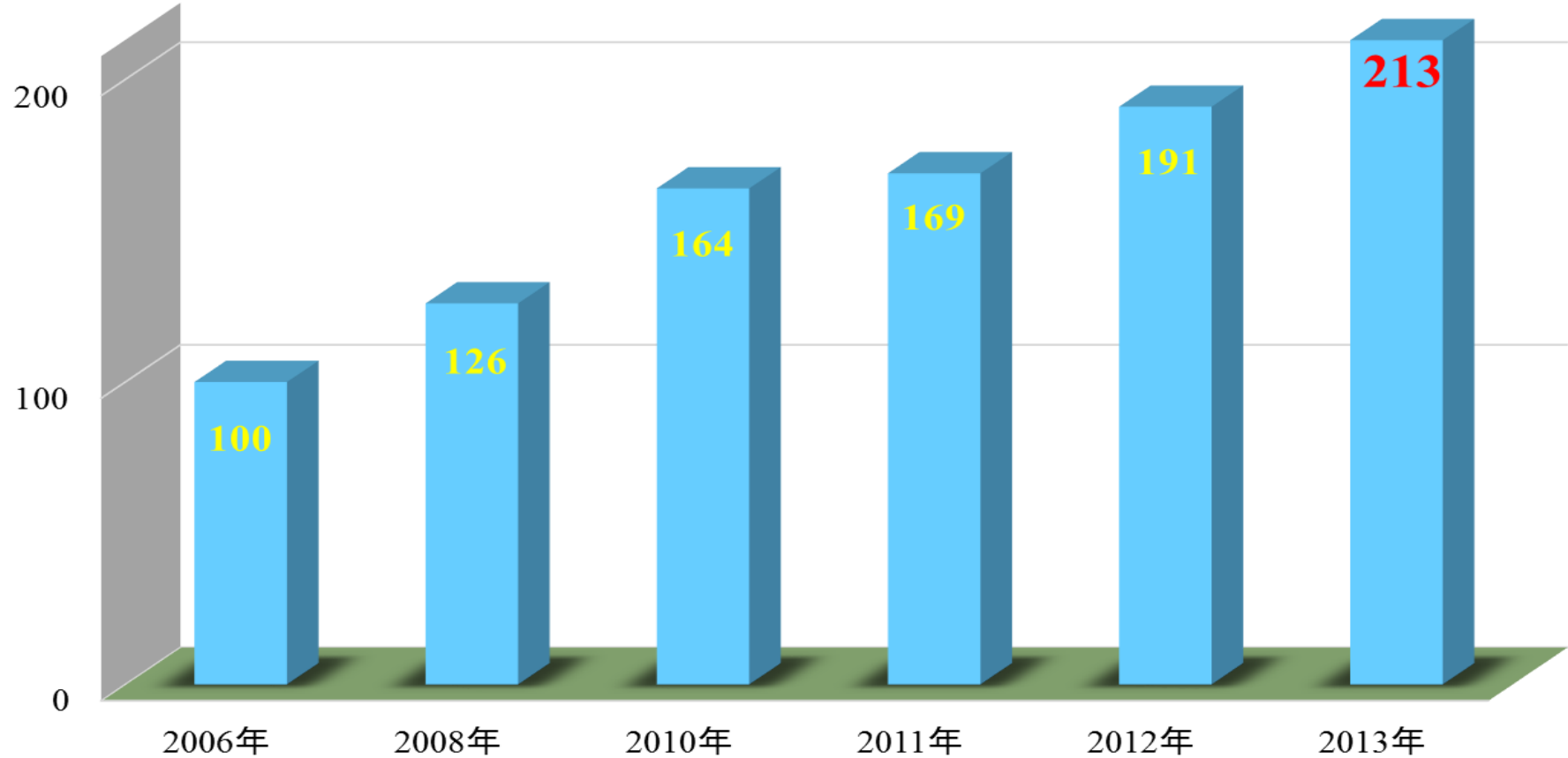
(暫定：個別品目にて確認中 平成26年12月現在)

単位:t



中国産原料生薬使用量上位30品目の価格指数の推移

価格指数



為替レート **116.30**
(¥/US\$)

103.36

87.78

79.81

79.79

97.60

(対2006年 約19円安)

2013 年における各生薬の価格指数

価格指数上位 5 生薬		
No.	生薬名	価格指数
1	ニンジン	393
2	キキョウ	293
3	オウギ	280
4	ダイオウ	266
5	ヨクイニン	266

使用量上位 5 生薬の価格指数		
No.	生薬名	価格指数
1	カンゾウ	186
2	シャクヤク	238
3	ブクリョウ	225
4	ケイヒ	157
5	タイソウ	157

注) 価格指数は2006年を100とし、加重平均にて算出している。

※日本漢方生薬製剤協会 中国産原料生薬の価格調査結果より

中国製品への懸念が広がっている

- グリーンピースは2012年～2013年に中国、香港の生薬を65サンプルを調査
- WHOによって「極めて有害」、もしくは「有害性が高い」とされる農薬のうち10種類の農薬を26サンプルで検出
- 極めて高濃度の残留農薬も検出。中にはEUの定める**残留農薬基準の500倍の濃度で検出**されたものも
- その後米国、カナダ、英国、ドイツ、フランス、オランダ、イタリアを対象に調査
- 生薬サンプル**36のうち、35で残留農薬**が検出され、26でEUの基準値を超える残留農薬が確認された

出典 グリーンピース < <http://www.greenpeace.org/japan/ja/news/blog/staff/blog/45695/> >

ドイツで生薬栽培を開始



LfL

Bayerische Landesanstalt für Landwirtschaft



**Chinese medicinal plants
cultivated in Bavaria**

**Monographs for quality and use
of herbal drugs for Traditional
Chinese Medicine**

わが国の薬草・薬木栽培

- **地方創生で薬草・薬木栽培**が注目されており既に多くの地域で作り始めている
- しかしながら**出口戦略と一緒に進めない**とせっかく作っても売れない
- 漢方産業化推進研究会では、**出口戦略と徹底的に推進、漢方でこの国を六次産業化**することを目指す

薬草・薬栽培の出口戦略を徹底的に

- 保険医療用 薬価のしぼり
煎じ薬
製剤
- 自由診療医療用
煎じ薬
- 一般用薬
製剤
- 健康食品
- 海外向け(一般用、健康食品)

化粧品という出口 ならこすめ

好評発売中

奈良県産 和漢植物エキス配合
オールインワン美容液

5つの和漢で、
ふっくらハリ感

古の時代よりその秘められた力が
伝えられてきた和漢植物。
厳選した5つの植物エキスが
今、日本人女性の
エイジングケア^{※1}を叶えます。



清らかな吉野山系の伏流水、それぞれの植物に適した気象・
土壌のもとで、ひとつひとつ大切に育てられた、産地と生産者
の顔が見える和漢植物にこだわった5種類のオリジナル和漢
植物エキス(うるおい美容液成分^{※2})を開発、1本にたっぷり
贅沢に配合しました。



オールインワンだから持ち運びが簡単。
ご旅行やスポーツクラブなどへのお出掛けの時
コスメポーチにこれ1本入れるだけです。
荷物がかさばる事がないので便利です。

古くから優良な生薬産地として知られる奈良県の和漢植物
出したオリジナル美容成分^{※2}を贅沢に配合しました。化粧
液・美容液の3つの働きを詰め込んだオールインワン美容

ならこすめ エッセンス

価格 2,480円(税込) 内容量 48mL

1 個購入する

カートに入れる



大和地黄(ヤマトジオウ)^{※3}

奈良県櫻井周辺で栽培された、ゴマノハ
グサ科の多年草であるアカヤジオウの
根(地黄)から得られるエキス。



大和黄柏(ヤマトオウバク)^{※3}

奈良県信貴山系で栽培された、黄柏と呼
ばれる植物の樹皮から抽出して得られる
エキス。



大和当帰(ヤマトウキ)^{※3}

奈良県明日香村で栽培された、当帰の
根から得られるエキス。



大和柿葉(ヤマトカキハ)

奈良県五条市で栽培されたカキノ科植
物カキの葉から得られるエキス。



大和芍薬(ヤマトシャクヤク)^{※3}

奈良県西吉野周辺で栽培された、芍薬
の根から得られるエキス。

本研究会への参加

- あくまでも研究会組織
- 本研究会の趣旨から鑑み、義務は何もない
- この国を漢方で活性化および持続可能な社会にする、という熱い思いが重要